

2015年2月

●バイオガスのハウス暖房利用実験報告(2015年2月5日)

現在、サツマイモ、ソルガム(モロコシ)、廃グリセリン(廃食油からディーゼル燃料を製造する際の副産物)などのメタン発酵試験を行っており、その際に発生したバイオガスを燃焼させてハウス暖房に利用する実験に取り組んでいます。ビニールハウスの外部左側に燃焼用のステンレス窯が設置(写真1)されており、ここで発生した熱い空気がアルミ製のダクトの中を流れます。このアルミ製ダクトは、ハウス内の小さなビニールハウスに置かれたプランターを囲うように取り付けられおり(写真2)、プランター中の培養土の地温を上げる仕組みです。とくに、コンクリート製プランターは日中温めておけば夜間の冷え込みにもかなり有効と思われる。



ビニールハウス外部に設置された
バイオガス燃焼装

プランター周囲に配置
されたアルミ製ダクト

コンクリート製プランターで栽培される
イチゴの苗

●「新しい東北」官民連携推進協議会(2015年2月9日)

2月8日に仙台サンプラザホテルにて、復興庁の「新しい東北」官民連携推進協議会の平成26年度第3回「会員交流会」が開催され、当協会が霊山プロジェクトのこれまでの活動成果をブースでの展示と発表を行いました。青トマトピクルス、青トマト醤油漬、なつはぜジャム、なつはぜパウンドケーキ、なつはぜ酒、もろこしクッキーなどを出品し多くの来場の多くの皆様に試食して戴きました。

とても美味しい！こっちの方がいいね！もっとこうしたらいいのでは！まだ販売していないの？ネーミングしてあげる、意匠デザイン協力するよ、などなど多くの評価、ご指摘を戴きました。これらの意見を踏まえ商品化に向けてさらに活動して行きたいと思えます。



